

B 小学校 ～校内研究により教員の共通理解を図っている～



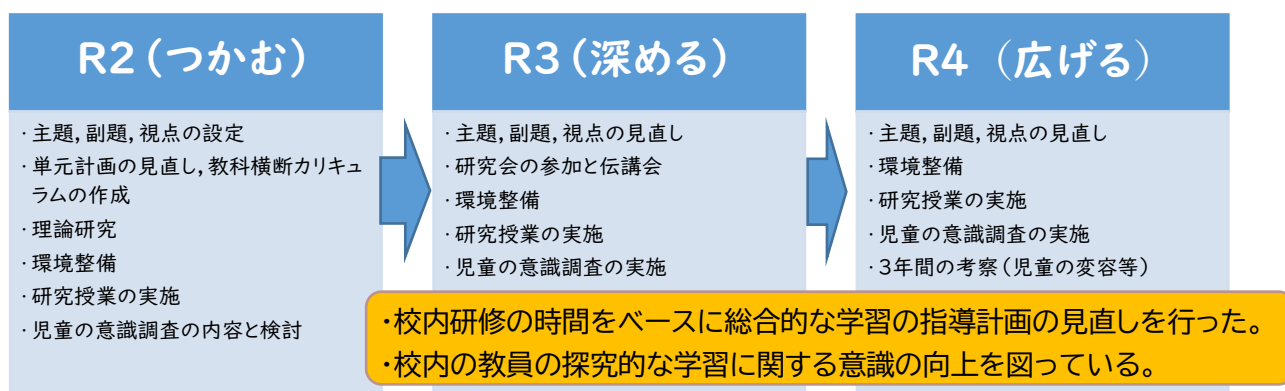
校内研究の時間を使いながら教員の探究的な学習についての認識を高め、協働で授業づくりを行った上で、研究授業を実施し、教員の共通理解を図っています。



校内研究に位置付け

3年に渡って校内研究で探究的な学習に取り組んできました。今年度は3/3年次に当たります。これまで、学級担任や研究主任を中心としながらカリキュラムを整備するとともに、校内研究の時間を使いながら教員の探究的な学習についての認識の共通理解を図っています。

B 小学校の研究計画（3カ年計画）



研究授業

研究授業は各学期に1回学年部で実施していて、協働による授業づくりを基に授業内容を検討しています。事前検討会は、授業者が立案した指導案素案を基に、全教員がそれぞれの授業構想を立案しています。そして、学習計画と探究のプロセスを対応させたり、疑問点を出し合ったりしながら擦り合わせを行います。最終的には授業研究部で内容を精査した後、学習指導案を全体へ提案する流れとなっています。こうした協働による授業づくりの課程を踏んだことにより、教員がだんだんと「子供たちがわくわく感を持てるように」という視点を持つようになり、楽しみながら授業づくりをする雰囲気が生まれています。

共通理解

研究1年目の令和2年度は、探究的な学習について教員の理解にばらつきがありました。職員間の共通理解を図ることを重点的に取り組みました。その結果、教員間の共通理解が図られ、探究的な学習の指導が充実していきました。更に、年間指導計画や単元計画、本時の指導など一つ一つの活動の中で、具体的な指導のイメージを持ちながら、目指す子供の姿の実現に向けて日々指導に当たっています。